

北九州地区労連ニュース

2024年9月号 No. 215

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

TEL 093-921-0747 Fax093-921-0284

メール k_oren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

ホームページ https://kitakyushu-roren.sakura.ne.jp/

解雇・残業代未払い・パワハラ

あきらめなくて電話して下さい

秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料

TEL093-921-0747

メール k_oren@kitakyushu-roren.sakura.ne.jp

物価高騰に追い付かない賃上げが浮き彫りに

北九州地区労連第36回定期大会が9月15日小倉北区のムーヴで、執行部・代議員・来賓65人が集い開催されました。

来賓あいさつで福岡県労連の三苦議長は、「北九州のようにアーケードが残った地域は少ない。大企業中心にやってきたことで、面白い活気ある町が無くなってきた。何を大事にするか考えた時、地域が大切。町を壊すのを防ぐのは、労働組合の力」と訴えられました。

24春闘では、大企業で要求に満額回答など報道されました。国民春闘共闘・全労連の賃上げ回答第8回集計では、有額回答の単純平均8503円(3,26%)で額としては26年ぶりの高水準でした。

9月以降、食料品や生活関連品が次々と値上がりする予定

であり、25春闘では、物価上昇を大きく上回る賃上げが必ずです。

財務省が9月に発表した2023年度の法人企業統計によると経常利益は76兆円、配当金は32兆円と過去最高を更新し、2012年度と比べると経常利益は2倍以上、配当金は2,4倍と大幅に増額しています。しかし、労働者の賃金は、3,6%増加したものの2012年度比較では、1,3倍にとどまり、大企業の労働者軽視は明らかになっています。

◆平和憲法を守る方針も

ロシア・プーチン政権のウクライナ侵略、住民への残虐行為、本心に許せません。

イスラエルのガザ侵攻も直ちに止めさせなければなりません。

もっと声をあげ国際世論で残虐な侵略を止めるため運動を強めることが必要です。

ロシアのウクライナ侵略を利用して岸田政権は、自公与党に国民民主や維新の会は、通常国会で「敵基地攻撃能力」保有や軍事費増強を強行しました。

中国を仮想敵国とし、台湾有事は日本の有事だと軍備増強

に走ることは、果てしない軍拡につながります。中国との関係も多くの企業が深い関係を持ち、さらに食糧も多く依存しています。そうした国と敵対することが、日本の国にとってプラスになるのでしょうか。

先日二十年位ぶりに厳島神社に行ってきた。時間は一時間ほど歩きこんなに遠かったのかと思った。鹿の数が思ったより少ない暑さのせいかな。うすくまっている。以前来た時海水は引いてトリーは砂地に立っていたが今回は満々と満ちていて編み笠を被った集団がボートに乗って鳥居まで行っていた。パドルボードに乗った人もいてこんなことも許しているのだと世界遺産なのにも思った。このトリーは写真でも実物でもどこから見ても絵になる素晴らしい景色。時間がなくなる。商店街を通って帰るがほいものはない。ほんとに鹿がないものはない。これも昔の話。

◆共同を大きく広げて

安達議長は開会あいさつで「企業の利益が労働者に回っていないため、賃上げできず子育てできない。この状況を打開しないと日本は成長しない。自分たちの権利を守るために選挙に行く。職場の若者に伝えたいといけな」と呼びかけました。

大会では、春闘で大幅賃上げをめざすとともに、秋にも予想される総選挙での市民と野党の共闘前進、自治体キャラバンで①九州で進む基地強化に反対し、平和憲法を守る、②公契約条例制定、③全国一律最低賃金制度実現、④建設アスベスト被害の根絶と企業責任追及に向けた意見書採択、など要請していくこと、福岡県民集会を地区労連として企画する、青年交流企画の実施、などの方針が提起され、満場一致で採択されました。

雨あがり

先日二十年位ぶりに厳島神社に行ってきた。時間は一時間ほど歩きこんなに遠かったのかと思った。鹿の数が思ったより少ない暑さのせいかな。うすくまっている。以前来た時海水は引いてトリーは砂地に立っていたが今回は満々と満ちていて編み笠を被った集団がボートに乗って鳥居まで行っていた。パドルボードに乗った人もいてこんなことも許しているのだと世界遺産なのにも思った。このトリーは写真でも実物でもどこから見ても絵になる素晴らしい景色。時間がなくなる。商店街を通って帰るがほいものはない。ほんとに鹿がないものはない。これも昔の話。

【大公開】



健和会労組
細川代議員

24春闘では、大企業を中心に大幅賃上げが伝えられる中、医療・介護で離職や人材不足が進み、労働環境が厳しくなっている。健和会労組では、すべての職員の賃上げを求め、ストライキにも取り組みました。3月の回答指定日には、報酬改定が6月で対経営のストは保留し、小倉・戸畑駅での宣伝行動。その後新しい診療報酬改定の「ベースアップ評価料」が事業所や労働者で対象外になる問題があり、6月12日の回答で対象外労働者への前進が見られず、6月13日に大手町病院と戸畑病院で指名ストを実施しました。秋季闘争に全力を挙げ、前進を目指します。



福岡県民集会を3月24日にTKP小倉シティホールで福建労北九州支部として開催した。県集会は県の会場であり、北九州は76人が参加し、5つの共闘団体からも報告があり、コロナ禍で希薄化したつつある共闘の関係を脱却し、各団体の要求を学び、運動の交流と

なった。来賓の緒方衆議院議員は、あいさつの後、「持続可能な建設業の実現に向けた100万人国会請願署名」の賛同議員になっていただき、賛同団体には署名で多くの協力いただいた。大石市議や市職労の重野さんの話で、参加者から「市政や市の方針が分かった」「他団体が何をやっているのか分かりやすかった」など好評だった。来年の地区労連としての県集會も協力して交流していきたいでしょう。



市職労
坂内代議員

昨年の賃金確定交渉で、初任給12000円、再任用2000円と全ての職員の改定とともに会計年度任用職員の報酬改定を4月に遡り支給させた。今年度から一時金の勤勉手当も支給させた。今年8月の人事院勧告は、月例給は、若年層に重点を置きつつ、再任用まで引き上げ勧告した。若年層は10%を超えるが中高年齢・再任用は、1%台で物価高騰に追い付かない。一時金で再任用は正規の半分と不当に低い。給与制度のアップデートの勧告は、本府省のキャリア優遇であり、地域手当の見直しも地域間格差の改善にならない。まもなく市の人勧があるが、国追隨を許さず、学嘱労と共闘し賃金改善を

めざす。



全教北九州
中川代議員

議案に労働者保護を壊す岸田政権とあるが、文科省は給付法4%から13%に見直す方向。「教育調整額を上げるから、残業がんばれ」と言っているようなもの。残業代が認められないのに月に80時間の残業を強いられる人がいる。文科省・教育委員会は、認めていない残業を45時間に減らそうと平気で言う。認めないなら残業がゼロになるように教員を増やし一人当たりの業務を減らして、私たちの主張。教員は感情労働で、児童生徒や保護者との関係でメンタル不調になり病気休暇を取る人が増えている。教員増や少人数学級、給付制奨学金・学校施設改善などの署名に取り組んでいる、協力を。



全労災門司支部
河野代議員

昨年、地区労連に不当労働行為解決の団体署名に協力したいただき感謝しています。労災病院を運営する労働者健康安全機構が、病棟看護師の2交代制勤務で非組合員のみ「選択制」導入強行と回交拒否が2022年5月30日にあり、2年に

渡り争ってききましたが、神奈川県労働委員会への不当労働行為救済申し立てを行い、5月20日に「和解」となりました。和解協定では、「今後とも基本的な労働条件は、原則として組合本部と交渉する」「非組合員の選択二交代制勤務について」将来にわたり組合員の労働条件、権利に影響が及ぼす可能性が大きく、組合員の労働条件との関わり合いが強い事項が生じた場合については、義務的団体交渉事項にあたる」を明記されました。団体署名は1400を超え大きな力となりました。



郵政ユニオン
松野代議員

郵政で2つの裁判をたたかった。ひとつ目の裁判では、8時間の勤務時間に制服着替えの時間15分を認めさせ勤務時間にさせた。二つ目は、非正規問題。40万人の社員のうち、20万人が非正規社員。住宅手当が出なかったが、出させた。しかし争った人だけ。今年3月にストをやり、地区労連から激励してもらった。来年もストをするので、よろしく。

安心して働き続ける学校職場をめざし運動している。昨年、26年ぶりの大幅賃上げで、それまで正規だけが、4月に遡って賃金改定されていた。昨年の交渉では、全国運動を行い、国を動かし、4月に遡って改定させた。一時金も期末だけから勤勉手当を今年夏から支給させた。それでも物価高騰に追い付いてない。病気休暇が無給など休暇制度も正規と違つ。正規との格差や雇用更新回数撤廃など実現を目指し賃金闘争を取り組む。



学嘱労
高崎代議員

野瀬代議員



憲法と平和を守る取り組み

核なき世界に

8月9日北九州平和ネットは、小倉駅で原爆被害のパネル展を取り組みました。

3年目に入ったロシアのウクライナ侵略、昨年10月に起きたイスラエルのガザ侵攻、本心に心を痛める大変な状況が続いています。そしてプーチン大統領は、核兵器使用をちらつかせ、イスラエルも核を使用して決着をとる声も聞かれるなど核使用の心配が増しています。

◆自衛隊が米軍の指揮下に

7月28日、日米安全保障協議委員会(2プラス2)、日米の外交・軍事担当閣僚の会合が行われ、自衛隊の指揮統制をめぐり、アメリカ側が在日米軍を再編して「統合軍司令部」を新設することを打ち出しました。狙いは、平時から戦時まで米軍と自衛隊の戦術や装備、後方支援などの共通性と共同訓練や共同作戦などで協力を親密にする事です。自衛隊は米軍に比べ、情報量・装備で圧倒的に劣っています。共同とは言っても、自衛隊が米軍に事実上、指揮下に組み込まれることになることが予想されます。2プラス2では、長距離ミサイルなど



自衛隊の敵基地攻撃能力について「アメリカとの緊密な連携の下での日本の攻撃能力の効果的な運用」が強調されました。米軍の指揮に入れば、国際法違反の先制攻撃が米軍の指揮のもと自衛隊によるミサイル攻撃の可能性が生まれます。

◆核よりも人のために

アメリカやロシアなど9の核保有国が2023年に核兵器の開発や維持のために支出した金額は、14兆円を超えます。国際NGO「核兵器廃絶キャンペーン」は、人類を滅亡に招く核兵器への浪費14兆円を気候変動対策や飢餓対策に使えば、1200万世帯への電力発電が実現し、現在飢餓に直面している4500万人に食糧を提供できると述べています。核兵器禁止条約は、2017年7月に国連で採択され、現在、署名国は93カ国、締約国は70カ国となりました。日本政府に核兵器禁止条約への参加を求めましようとする参加者は、訴えました。

世界の子と七の未来のために

8月31日から9月1日にかけて平和のための戦争展が黒崎コムシティで開催されました。市民ギャラリーでは、3

1日10時から9月1日まで二日間、北九州市平和資料室所蔵戦時遺品や原爆パネル、パシスチナ問題、戦争準備が進む沖縄・九州・西日本の現状など盛りだくさんの展示でした。

13時からは、子どもホールで企画イベントが取り組まれ、開会あいさつで三輪実行委員長が、「今年で29回目の戦争展。戦争の道か平和の道かの歴史的な岐路に私たちは、立たされている。岸田政権は、大軍拡・大増税を国民に押し付け、戦争の道突き進む。私たちは、侵略戦争の反省から二度と戦争はしないと誓った。戦争の悲惨さと平和の貴さを学び合いましよう」と訴えられました。

最初の企画は「平和の旅」合唱団が「長崎の被爆者、渡辺千島遺品の水筒は、銃弾で空いた穴がある。兵士の命を救ったのか。名前も書いてある。本当は天皇からの頂き物である支給品に名前を彫ることは許されないことだが、水が無ければ命が無くなる大切な水筒を取らないためにしたことと想像できる。昭和史の質問をする。



恵子さんが原爆投下時の被爆体験の語り部になるまでの苦悩と平和への願い・大切さを訴える事になった物語をコーラスで伝える、歌声」に感動しました。

◆知らなかった戦争

記念講演では、「遺品が語る戦争の真実」をテーマに「兵士・庶民の戦争資料館」館長の武富慈海さんが、「歴史の教訓を学べと言っけれど歴史を知らない。昭和史をほとんど知らない」と話始められました。

満州で兵士だった父が戦後、戦争資料館を始めて、今その資料館の館長をしている。ガラスケースはない。その理由は、手に触れて感じてほしいから。凹んだ鉄片、軍服や千人針など話だけで理解できなくても、実物を見て実感できる。戦争が次世代に伝わるためにも、過去の出来事でなく、これからどう生きるのか、を考えてもらうために平和を語っている。レイテ島遺品の水筒は、銃弾で空いた穴がある。兵士の命を救ったのか。名前も書いてある。本当は天皇からの頂き物である支給品に名前を彫ることは許されないことだが、水が無ければ命が無くなる大切な水筒を取らないためにしたことと想像できる。昭和史の質問をする。

太平洋戦争の戦死者は、陸軍165万人・海軍47万人とされるが、餓死者は、どれくらいかわかりますか。実は148万人で戦死者の7割が飢え死にしている。戦死者のうち、遺骨が戻っていない人は、フィリピンなどに100万人もいる。

◆兵士の命も守らない日本軍

優秀と言われるゼロ戦の飛行距離は。東京から台湾まで2123キロも飛べる、それは何故か。鉄板が薄く、燃料を食わないからでパイロットの命を守らない。そして特攻の訓練ばかりしていた。アメリカの戦闘機は、パイロットを守るために操縦席周辺は特に鉄板が厚かった。米国は生還の軍隊と言われていた。戦争のことは勉強しないとわからない。戦争は突然起きるわけではない。今政府は防衛費を上げている。軍事費が上がる戦争の危機が増す。昭和19年の軍事費は、国家予算の89%にもなっていた。平和憲法に国防軍が認められれば、アツという間に戦争につながると懸念している、とまとめられました。

その後、小学校2年の時に八幡大空襲を経験した杉野慧子さんの語り部があり、北九州アカデミー少年少女合唱団の歌声など充実した企画でした。

労働法コラム 第114

働く女性と生理休暇



黒崎合同法律事務所
東 敦子 弁護士

が、特別の証明がなくても当日に口頭の請求でもよく医師の診断書のような厳格な証明も求められていません。その間の賃金は有給でも無給でも差し支えないとされています。

無給だと困るな・・・という場合は職場で「有給」の制度を作るためにはどうするか？という問題になります。無給でも休みたいのには言い出せないという場合は申し出しやすい環境作りが必要となります。実際に2021年の調査では「男性上司に申請しにくい」が61.8%、「利用している人が少ないので申請しにくい」が50.5%だったそうです。厚生労働省のホームページには研修を開催したり、総務の女性部長にLINEで申請するだけでよいようにしたりとの工夫も紹介されていました。

朝ドラの「虎に翼」でも主人公の寅ちゃんが「月のものが重い」ということで生理の大変さに着目した場面がありました。

私は小学生のときに「生理は赤ちゃんがやってくるいいように子宮に血液でベッドを作っておいたけど、赤ちゃんが来なかったときにそのベッドを身体の外に追い出すこと」と学習して、わー、わかりやすいと思いました。追いつくのに子宮がギューッとなるので痛くなっちゃうんだと子どもながら

金がかかります。生理であることから休暇が取れるのではなく、就業が著しく困難であることが要件です



に理解してしまいました。人それぞれ、家庭それぞれで「生理」のオープンさは変わるものかなとは思いますが「お母さん、生理のとき辛いから家事はお休みのときやー」と話してみたり「私は生理の前はどうしてもイライラするから、言葉がきつくなるかも」と話してみたりすることでも、「生理休暇」の取りやすさにつながる気がします。

生理は女性が経験するものですが、生理だけではなく、誰にでもおこりうる身体の不調について、自分の身体の声を聴けること、他者の不調にも配慮できることは仕事をしっかりと続けていくためにも重要なことだと思います。

「平和とくらし」の危機!

8月25日博多第3階成ビルで第35回福岡県労連定期大会が開催されました。

北九州地区労連から安達議長は代議員として、現地で発言し、スームでも参加しました。

岸田政権による大軍拡・大増税で他国との武力衝突の危機が高まることもに社会保障・教育予算が削減され、私たちの「くらし」が破壊されています。福岡県労連として、平和憲法を守る運動を強化し、全国一律最低賃金制度の実現や賃金の大幅引き上げをめざし、奮闘を旺盛に進めてきました。

働き方の多様化・柔軟化を口実に雇用でない働き方を経営側は狙っています。

この闘いを勝利するためには、仲間の団結を深め、組織拡大を広げることが必要です。大会では、①人間らしい「くらし」と「働き方」実現、②平和で公正な社会を目指し総選挙で憲法を生かす政治への転換を求める国民的なたたかいを進める、運動方針が満場一致で採択されました。



★映画と読書のすゝめ

ラストマイル



まだまだ、暑い日が続いていますね。この文書、投稿者も冷房の効いた図書館での読書も好ですが、たまには冷房の効いた映画で冷えませんか。久々に映画のおすすめです。

8月24日からロードショー上映中です。あらすじ的には、11月、流通産業界最大のイベントのひとつ「ブラックフライデー」の前夜、世界規模のショッピングサイトから配送される段ボール箱が爆発される事件が発生。やがてそれは日本国中を恐怖に陥れる謎の連続爆破事件へと発展していく。「アンナチュラル」「MUR404」などの数々の名作ドラマの演出を手がけ、視聴者の心を掴み続ける塚原あゆみ監督。同作品脚本を務めた野木亜紀子。その2作品の主題歌を務めた米津玄師。投稿者も物流経験があるだけに、印象に残る映画です。ストライキも登場し、現在の日本も表現。物流においてお客様へ荷物を届ける過程の最後の区間を表すこのタイトルにこめられたメッセージと・・・。